

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	彩の森入間公園
指定管理者	彩の森入間公園パートナーズ
評価対象年度	令和6年度
施設所管課所	大宮公園事務所

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の平等な都市公園の利用の確保	平等利用の確保	A	条例及び事業計画で定められた供用日、供用時間で運営した
	利用料金の適切・公平な徴収	A	利用料金の徴収を適切に行った。 利用料金は事務所での掲示、HPに掲載するなど周知に努めた
	苦情・要望等への適切な対応	A	・事務所にアンケート記入用のテーブルを整備。寄せられた意見はスタッフ全員で共有し、安全管理に係る案件は迅速に対応。その対応は事務所に掲示している。 ・利用者マナー向上のためのキャンペーン実施や粘り強く指導し、利用者間トラブル防止に努めている。
関係する法令等を遵守した適正な都市公園の運営	法令等の遵守	A	法令等を遵守し、利用者へは都市公園条例及び管理者が定めた禁止行為に基づき適切に指導を行った。
	適切な各種手続	A	・基本協定に定められた書類は適正に提出した ・園内禁煙の掲示を行い、喫煙者には指導を行い受動喫煙防止対策を行った
都市公園の設置目的を効果的に達成した効率的運営	管理目標の達成	A	管理目標は4項目 全て達成 ①レジャーグッズ有料貸出175件以上②ボランティア参加人数880人以上③HP更新90件以上④公園に瑕疵ある事故0件
	事業の実施	A	年間50件のイベント開催。特にR5から開始した彩Sainomori park Marketは継続して行ったことで地域住民に認知された。
	安全性の確保	A	・大雨被害に備えて園内排水溝枠の清掃を行った。埋没していた枠も清掃して地図に落とし込んだ。 ・トラップを仕掛けスズメバチの巣を防止した。
	防災等適切な管理の履行	A	災害発生時の対応研修、総合防災訓練を行った。公園で行った防災イベントでは「ペットとの同行避難」をメインに取り扱った。
指定管理業務を行う経営基盤	収支の適正な管理	A	指定管理業務以外への支出なし。会計も独立した収支管理を行った
	事業計画との整合性	A	適正に会計書類を整備し、必要な保険に加入した
その他	個人情報の適切な管理	A	個人情報保護マニュアルに基づき、個人情報取得の際には利用目的・利用範囲を明確にするほか、利用後は速やかに処分した。
	県内中小企業及び環境への配慮	A	特殊技術・材料を要するもの以外は県内中小企業へ発注した。剪定木はチップ化し園内で利用した。農薬等は使用せず、環境に配慮した維持管理を実施。
総合評価		A	犬を連れた利用者が多い特性から、公園で開催されるイベント等のターゲットを犬を連れた利用者に設定。犬を連れた来園者に向けた企画を重ねることで来園者を増やしている。

特記事項	特に評価すべき点	・図面がない、埋没していた枠を自ら探して地図への落とし込みと併せて清掃実施。 ・公園主催の彩Sainomori park Marketは地域のイベントとして地域住民に認知されている。
	次年度に向けて改善が望まれる点	・ジョギングコースの逆走等についての苦情の改善 ・周辺に軽食が可能な店舗がないことから、来園者からの要望が多い軽食の提供方法の検討